

- 問1 アフリカ大陸の最南端に位置する南アフリカ共和国において、1990年代前半まで長年にわたって行われていた、白人とそれ以外の人種を厳格に区別し、居住区や公共施設などを分ける人種隔離政策を何とといいますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. カースト制度 2. ホワイット・オーストラリア政策 3. アパルトヘイト 4. ブランテーション
-
- 問2 2019年のカメルーンの輸出統計では、原油が39.3%、木材が14.1%、カカオが12.3%となっており、上位3品目だけで輸出額全体の約3分の2を占めています。このような経済状況にある国々が共通して抱える課題として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. 輸出を優先することで、国内の主食となる農産物の自給率が飛躍的に高まる。 2. 国際価格の変動や作物の不作が、国全体の経済に深刻な影響を及ぼしやすい。 3. 特定の製品に特化しているため、工業化が進みやすく、景気が安定しやすい。 4. 先進国との公平な貿易が維持されるため、農家の所得が天候に関わらず安定する。
-
- 問3 アフリカ諸国に多く見られる「モノカルチャー経済」の特色と課題について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 輸出の大部分を機械類や自動車などの工業製品が占めており、国内総生産（GDP）は欧米諸国と同水準にある。 2. 原材料を輸入して高度な工業製品を製造・輸出する構造であり、国際価格の影響を受けにくい安定した経済である。 3. 特定の資源や農産物の輸出が中心となっており、その品目の国際価格が下落すると国全体の経済に大きな打撃を与える。 4. 複数の農産物や工業製品をバランスよく輸出することでリスクを分散しており、世界不況の影響を受けにくい構造である。
-
- 問4 地中海に面したアフリカ北部の地域で行われている農業について、その仕組みと気候の関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 年間を通じて降水量が非常に少ないため、砂漠の中のわき水や地下水路が得られる場所で限定的に栽培を行う。 2. 夏にモンスーンの影響で多量の雨が降るため、その水分を蓄えて広大な土地で稲作や茶の栽培を行う。 3. 夏に高温で乾燥するため、乾燥に強い性質を持つ樹木作物を栽培し、冬の降水を利用して小麦を栽培する。 4. 森林を焼き払った後の灰を肥料として利用し、数年ごとに栽培場所を移動しながらイモ類などを栽培する。
-
- 問5 アフリカの多くの国々において、ブランテーションで特定の農作物を大規模に栽培し続けている現状が、国の経済にどのような影響を及ぼしているか、その説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
1. 農作物の種類を絞ることで効率的な自給自足が可能となり、世界的な経済危機の際にも安定した国民生活を維持できている。 2. 先進国からの需要が安定しているため、ブランテーションを維持することで外貨が安定的に確保され、格差のない経済発展が実現している。 3. 地下水をくみ上げるセンターピボットの導入により、カカオやコーヒーなどの栽培から穀物生産へと切り替わり、輸出依存から脱却している。 4. 特定の作物の輸出に頼るモノカルチャー経済となっており、国際価格の変動や天候不順が国の財政に大きな影響を与えやすい。
-
- 問6 エジプトとリビア、あるいはエジプトとスーダンの国境線のように、山脈や河川などの自然の地形を利用せず、地図上の経線や緯線に沿って引かれた直線的な境界について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 砂漠地帯における遊牧民の移動ルートを確保するために、自然発生的に成立したもの 2. 同じ言語や宗教を持つ人々が分断されないよう、現地の住民が話し合っ
て決めたもの 3. 標高の高い山脈や大河川の流れを基準に、軍事的な衝突を防ぐ目的で引かれたもの 4. かつての植民地支配の際、ヨーロッパの列強が民族の分布を無視して人為的に定めたもの
-
- 問7 アフリカの多くの国で見られる「直線的な国境」について述べた文として、正しい内容のものを次の中から選びなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 主に沿岸部において、貿易港からの距離を等しく保ち、経済的な格差をなくすために導入された制度である。 2. 独立後のアフリカ諸国が、民族ごとのまとまりを重視して、伝統的な部族の境界線に沿って新たに引き直したものである。 3. 植民地時代にヨーロッパ諸国によって引かれた境界線がもとになっており、経線や緯線が利用されている。 4. 熱帯雨林や砂漠などの厳しい自然環境において、移動の目印とするために山脈や河川などの自然地形に合わせて引かれている。
-
- 問8 アフリカやラテンアメリカの国々の中には、コーヒー豆や特定の鉱産資源など、限られた品目の輸出が国内経済に占める役割が非常に大きい国が見られます。このような、特定の一次産品の輸出に強く依存している経済構造を何と呼びますか。その名称と特徴として正しいものを選びなさい。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. 特定の輸出品目の割合が非常に高く、経済的依存が強いモノカルチャー経済 2. 原料を輸入し工業製品を輸出することで、高度な技術力を活かす加工貿易 3. 多くの種類の工業製品をバランスよく輸出し、価格変動のリスクを分散させた多角化経済 4. 国内の消費を自国の生産で全てまかない、輸出入を制限する自給自足経済
-
- 問9 アフリカ州の言語分布について説明した資料において、北アフリカから西アフリカにかけての多くの国でフランス語が、東アフリカや南部アフリカの一部の国で英語が公用語とされています。このように、国や地域によって公用語が異なる要因となった歴史的事象として最も適切なものはどれですか。 (2023年 高知県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ諸国によるアフリカ分割と植民地支配の範囲が異なっていたこと 2. 冷戦期に、アメリカ合衆国とソ連のどちらの陣営に属したかという違い 3. アフリカの各民族が、移住先のヨーロッパ諸国の言語を自由に選択したこと 4. 各国の資源の輸出先が、イギリスであったかフランスであったかという違い
-
- 問10 アフリカ大陸を通る主要な緯線と経線の位置関係について、具体的な地名との組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 日付変更線がアフリカ大陸の西端を通り、南回歸線がナイジェリア付近を通る。 2. 本初子午線は大陸西側のアルジェリア付近を通り、赤道は大陸東部のケニア付近を通る。 3. 本初子午線は大陸東部のエジプト付近を通り、赤道は大陸南端の南アフリカ共和国を通る。 4. 東経135度の経線がアフリカ大陸の中央を通り、北回歸線がギニア湾付近を通る。
-
- 問11 アフリカ大陸北東部の地形を示した資料において、エチオピア付近の高地から発し、スーダンを経てエジプトを北上し、地中海へと流れ込む巨大な河川の特徴を説明したものとして、正しい記述はどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. アフリカ大陸の中央部を流れ、大西洋のギニア湾に注ぐ、長さ世界2位の河川である 2. 世界で最も長い河川であり、流域の乾燥した地域に農業の恩恵をもたらしている 3. 北アメリカ大陸を北から南へ横断し、メキシコ湾に注ぐ世界最大級の河川である 4. 流域面積が世界最大の河川であり、熱帯雨林の中を西から東へ流れている

答え合わせ・解説

問1	答え 3 アパルトヘイト	南アフリカ共和国では、少数の白人が多数の黒人などを支配する体制を維持するため、法的に人種を分離する政策がとられていました。この制度は国際的な非難を浴び、日本を含む多くの国々から経済制裁を受ける原因となりましたが、1990年代に入りデクラーク大統領らによって廃止へと導かれました。
問2	答え 2 国際価格の変動や作物の不作が、国全体の経済に深刻な影響を及ぼしやすい。	特定の資源や農産物に依存している場合、それらの国際市場での取引価格が下落したり、天候不順によって収穫量が減ったりすると、国全体に入ってくる外貨が大幅に減ってしまいます。このように、自国の努力だけではコントロールできない外部要因によって経済が左右されやすい点が、モノカルチャー経済の大きな弱点です。
問3	答え 3 特定の資源や農産物の輸出が中心となっており、その品目の国際価格が下落すると国全体の経済に大きな打撃を与える。	ナイジェリアの原油やザンビアの銅のように、輸出の7割以上を特定の1品目に頼る傾向があります。このように輸出の中心が資源に偏っているため、自国の努力だけではコントロールできない世界情勢や国際価格の変動によって、国の収入が激減するリスクがあります。また、こうした国々は先進工業国と比べて国内総生産（GDP）が低いことが一般的です。
問4	答え 3 夏に高温で乾燥するため、乾燥に強い性質を持つ樹木作物を栽培し、冬の降水を利用して小麦を栽培する。	地中海式農業の最大の特徴は、季節ごとの降水量に合わせた作物の使い分けにあります。他の選択肢にある「わき水を利用する」のは乾燥帯のオアシス農業、「森林を焼き払う」のは熱帯で見られる焼畑農業の説明であり、地中海沿岸の気候的特徴とは合致しません。
問5	答え 4 特定の作物の輸出に頼るモノカルチャー経済となっており、国際価格の変動や天候不順が国の財政に大きな影響を与えやすい。	植民地時代に形成された、特定の農作物や資源の輸出のみに依存する経済構造をモノカルチャー経済と呼びます。この仕組みでは、その作物の国際的な市場価格が暴落したり、干ばつなどの天候不順で不作になったりすると、国全体の収入が激減してしまうという経済的な脆弱性を抱えています。そのため、現在のアフリカ諸国では、工業化を進めたり栽培する作物の種類を増やしたりすることで、この輸出依存からの脱却が大きな課題となっています。
問6	答え 4 かつての植民地支配の際、ヨーロッパの列強が民族の分布を無視して人為的に定めたもの	アフリカ大陸の多くの国々で見られる直線的な国境は、19世紀後半から20世紀にかけて、ヨーロッパの列強諸国が植民地を分割する際に、地図上の経緯線を基準にして便宜的に引いたものです。この線引きは、現地の部族の居住地や伝統的な生活圏を無視して行われたため、独立後も民族間の対立や国境紛争を引き起こす大きな要因となりました。
問7	答え 3 植民地時代にヨーロッパ諸国によって引かれた境界線がもとになっており、経線や緯線が利用されている。	アフリカの国境の多くは、自然の地形（山脈や河川）を利用した「自然的国境」ではなく、人間が便宜的に引いた「数理的国境（人為的国境）」です。これは、かつてアフリカを分割統治していたヨーロッパの列強諸国が、自国の利益や管理のしやすさを優先して、緯線や経線に沿って境界を定めたことに由来します。このような歴史的経緯から、アフリカ大陸には定規で引いたような直線状の国境が数多く残っています。
問8	答え 1 特定の輸出品目の割合が非常に高く、経済的依存が強いモノカルチャー経済	特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造を「モノカルチャー経済」と呼びます。低緯度帯に位置する発展途上国によく見られ、輸出総額における特定の品目の割合が極端に高いことが特徴です。これにより、国際価格の変動がその国の経済全体を左右することになります。
問9	答え 1 ヨーロッパ諸国によるアフリカ分割と植民地支配の範囲が異なっていたこと	19世紀末のベルリン会議などを経て、ヨーロッパ諸国はアフリカ大陸を分割して植民地にしました。このとき、フランスが支配した地域（西アフリカなど）ではフランス語が、イギリスが支配した地域（東アフリカやナイジェリアなど）では英語が持ち込まれました。現代の公用語の分布は、当時のヨーロッパ諸国による植民地支配の区分けを強く反映したものです。
問10	答え 2 本初子午線は大陸西側のアルジェリア付近を通り、赤道は大陸東部のケニア付近を通る。	アフリカ大陸の形状と主要な基準線の位置関係を整理する必要があります。経度0度の本初子午線はアフリカ大陸の西側（アルジェリアなど）を通過します。緯度0度の赤道は大陸の中ほどを横切り、ギニア湾からケニアへと伸びています。エジプトは大陸の北東、南アフリカ共和国は大陸の南端に位置するため、それぞれ基準線からは離れています。また、日付変更線は太平洋を通るため、アフリカ大陸とは関係がありません。
問11	答え 2 世界で最も長い河川であり、流域の乾燥した地域に農業の恩恵をもたらしている	エチオピア高原などを水源とするナイル川は、エジプトのような降水量の極めて少ない乾燥地帯を貫いて流れています。定期的な増水がもたらす肥沃な土壌と水資源は、古代エジプト文明を誕生させ、現在も周辺国の農業や生活に欠かせない役割を果たしています。世界一の「長さ」はナイル川、世界一の「流域面積」はアマゾン川という区別が重要です。